

オンライン懇談会 議事録

< 大船地域 >

日 時	令和2年11月10日（火） 午前10時～11時
場 所	鎌倉芸術館
参 加 者	自治会町内会代表 19団体：19名 地域団体代表 2団体：2名 計21名 鎌倉市 1名
内 容	(1) 開会挨拶 (2) 懇談 (3) 閉会挨拶

参加者名簿（敬称略）

【自治会・町内会等】

	団 体 名	氏 名	備 考	オンライン
1	山ノ内上町町内会	上原 義幸	会長	○
2	山ノ内明月会町内会 大船地区社会福祉協議会	高木 総一郎	会長	
3	山ノ内中町北町内会	古川 均	会長	
4	山ノ内下町上町内会	亀井 豊三郎	会長	
5	山ノ内下町中町内会	関口 久男		
6	末広町町内会	梅澤 清	会長	
7	戸ヶ崎町内会	伊勢 拓人	会長	
8	市場町内会	北村 充成	会長	
9	つるまい町内会	秦 豊昭	会長	
10	田園町内会	水島 三千夫	会長	○
11	大船仲通町内会	権頭 泰雄	会長	
12	松竹前町内会	岩崎 安男	会長	
13	離山町内会	三橋 宏	会長	
14	栄町町内会	本橋 努	会長	○
15	谷之前自治会	山根 正博	会長	
16	大船町内会	田子 祐司	会長	
17	岩瀬町内会	織戸 武司	会長	
18	今泉町内会	高橋 育雄	会長	

19	今泉台町内会	尾島 隆史	会長	
----	--------	-------	----	--

【その他の団体等】

	団 体 名	氏 名	備 考	オンライン
1	第7地区民生委員児童委員協議会	角田 孝子		
2	第8地区民生委員児童委員協議会	尾島 珠世		

【鎌倉市】

	役 職	氏 名	備 考	オンライン
1	鎌倉市長	松尾 崇		○

<大船町内会 田子会長>

皆さん御存知のとおり、この夏できなかつたものを、こういう形で今日市長から回答をいただきます。回答いただき、皆さんも意見をどんどん言っていたければありがたいと思います。時間が1時間しかないので、簡単に挨拶に代えさせていただきます。よろしく願いいたします。

【北鎌倉隧道、今泉クリーンセンターの生ごみ処理設備の導入、小袋谷歩道橋について】

<戸ヶ崎町内会 伊勢会長>

今回、大船地域から三つの案件について、議題とさせていただきます。

1つは、以前からずっと相談させていただいている案件ですが、北鎌倉駅裏のトンネルの件です。数年前からやっていますが、進捗が全く見られないような状況で、一体どうなっているのかと地元から強く上がっておりますので、状況についてお伺いしたいと思います。

2つ目は、今泉クリーンセンターの生ごみ処理設備の導入に関してです。これは地元の3町内会が連合を組んで、ぜひ中止していただきたいと何度も何度も申し上げております。それにもかかわらず、状況はあまり説明をされない状態で、設備の導入が進められているように聞いております。かつ、設備を増強するというような話も聞いております。これについて、真摯に三つの町内会と、ある程度向き合って話を進めていただきたいと思って議題にしております。

3つ目が、新しい案件で、小袋谷歩道橋についてです。暫定的な改修工事を行っておりまして、今年中に新しい歩道橋を作るというお話でしたが、コロナの関係でお金がないので、来期に持ち越しますという話を書面で頂いております。地元ではあそこを取り壊してしまうといううわさが多々流れておりまして、何か小袋谷河川橋に統一するというようなうわさも聞いていますが、私どもにとってはとても大切な歩道橋なので、取り壊すということはせず、新しい橋を作っていただきたいです。お金の問題もあると思いますが、地元からはかなり切実な要望が出てきておりますので、その辺についてどういう状況なのかをお伺いしたいと思っております。

以上、よろしく願いいたします。

<松尾市長>

まず、1点目からです。北鎌倉裏トンネルの問題については、長年通行止めで、皆さんに大変御迷惑をおかけしており、大変申し訳ございません。現在、三つの案がございまして、その計画に基づいて工事をしていくということで、最終的な案を決めていく段階に入っています。この案を決めるには、まずは地権者の方の同意が必要です。従前からここに関わる地権者の方にお話をさせていただいて、一つの方向性を見いだしていく作業に取り組んでいるところです。なかなかお会いできる機会も限られている状況で、もしくはお話をさせていただく中でも前に進まない状況が事実もございませけれども、お会いをして、何とか御理解をいただけるように今鋭意努めている状況を御理解いただければと思っております。

それから、2点目の今泉クリーンセンターの対応についてです。こちらにつきましては、地元から様々な御意見をいただいたり、3町内会、自治会の会長の皆さんにも直接お話を持ってきていただいておりますことは大変申し訳ございません。今、導入が着々と進められているというような話もございましたが、決してこれは地元の御意見を無視して強引に進めていくということではなく、あくまでも計画には当初から位置づけをしていたものということは継続しておりますが、地元との話し合いを丁寧に進めていく形で今後も進めてまいりたいと思っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

それから、3点目の小袋谷歩道橋の今後の予定についてです。御案内のとおり、大変老朽化が進んでおりまして、腐食があったため一時通行止めにし、近隣の皆さんにも大変御不便をおかけいたしました。今後どうしていくかというところですが、方法としては、撤去するか、もしくは補強していくということが考えられます。ただ、これはまだ正式に決まっているという話ではありません。補強するのにいくらぐらいかかるか等、今調整をしているところでございます。地元の方にもお示しできるような状況がそろいましたら、お話をさせていただく中で、今後の方向性を決めてまいりたいと思っておりますので、地元の皆さんにも逐一、情報を共有しながら進めてまいりたいと思っております。

<末広町町内会 梅澤会長>

今の市長のお話ですと、小袋谷歩道橋の件は、撤去するか、補強するか、まだ決まっていないという話ですが、撤去する可能性もあるということですか。

<松尾市長>

そういう意味では誤解を招いてしまってはいけません、決して市で撤去したいということではなく、老朽化している橋を今後どうしていくかという状況においては、撤去をする方法もあり、また補強していく方法もあるということであると認識しています。もちろん、先ほど伊勢会長からもありましたように、撤去してほしくないという地元のお声があるということは認識をしておりますので、どうしていくか話し合いをさせていただきたいということで、御理解いただければと思います。

<末広町町内会 梅澤会長>

最終的な話し合いで撤去もあり得るということですね。

<松尾市長>

様々な要因をきちんと整理をして御提示ができてから、そういう話し合いになるかと思っておりますが、JRの線路を跨ぐ橋につきましては、工事が非常に難しいという制約がございます。これまでも、市が工事する中では、JRに関わる工事は一般の公共工事とは金額のかかり方が全然違うということがあり、驚くような高い金額という場合もあります。その辺りをきちんと共有をさせていただきながら、その金額が十分御理解いただけるものなのかどうか。また、市としてもそれを費用負担できるものなのかどうか。ほかにどういう形で皆さんが安全に場所を通行できるのか、その辺りの材料がそろいませんと、なかなか議論ができないと思っております。そういう可能性の中できちんと方針を決定する前に皆さんと話し合いをさせていただきたいと思っております。

<末広町町内会 梅澤会長>

納得はできませんが、取りあえずありがとうございます。末広町や小袋谷の住民としては、どうしても残していただく形を取ってほしいとは思っていますので、よろしく願いいたします。

<戸ヶ崎町内会 伊勢会長>

一番目の北鎌倉トンネルですが、今の市長からの御説明というのは、去年も言われましたし、一昨年も全く同じことを言われていると思います。過去の議事録を見ていただければお分かりだと思いますが、どこが進んでいて何がネックになって、いつ頃までに結論が出るのかという見通しを御説明いただければと思います。

<松尾市長>

一昨年、地権者の方等と関係者の方にお集まりいただき、話し合いをさせていただきました。実はこの課題が少し出ました。

一つは、議事録にもありますが、自動車があそこのトンネルを通行できていなかったが、いつの間にか通行できるようになっていたと。それについては、地権者の1人の方からは了承はしていないはずだというお話がございました。その点をどう解決していくかというところがございます。

もう一つは、文化財的な価値の指摘について、市としては、方向転換をさせていただいたような状況がございました。これについて、きちっと理解ができるように説明をすべきだということをおっしゃられている方もいらっしゃいます。これについては、文化庁からも鎌倉市役所にお越しをいただいて協議をするというような場も設定をさせていただいたりしておりますけれども、まだ十分に御理解をいただけていないという状況があります。

それらの方々も、決してその方たちが何か障害になってできないということではないだろうとおっしゃられる部分がございます。そこは私も気をつけて説明をしなければいけない部分ではありますが、全体をまとめていく中では、まだ十分な御理解をいただけていないという状況にございます。ただ、一刻も早くここを通行できるようにしなければならぬため、何としても御理解いただきたいと思っており、庁内的には当初この10月議会に何とか提案できるよう

にということで、調整を繰り返して行っていますが、何とか年内には方向性が見いだせるよう取り組みを進めているところであります。

<戸ヶ崎町内会 伊勢会長>

今の話も去年言われました。去年は春だったので、夏までには何らかの方向が見えて進めていくということでした。地権者とも調整が滞る事情はもちろん分かっていますが、地元の方は一日も早く通れるようにしてほしい。救急車が通れるようにするのか、人間だけが通れるようにするのか、分からないですけれども、取りあえず通れるようにしてほしい。例えば、前の道路は狭いですし、高校生や中学生の方も大勢が通ります。とにかくトンネルを通れるようにしていただきたいというのが単純なお願いです。御覧になると分かりますが、入り口も出口もだんだん汚くなってきていますよね。何か納得できないというか、理解できません。

<松尾市長>

私どもはこれ以上の説明というものはなかなかないです。私が地権者の方に御理解をいただく努力をしていかなければいけないというところがありますので、一刻も早くそれを実現できるように精いっぱい努力をしているというところでもあります。大変時間がかかって申し訳ありませんが、これは自分自身の課題としてしっかりと取り組んでまいりたいと考えております。

<山ノ内明月会町内会 高木会長>

市長が今お話しになりました地権者の同意という件ですが、平成30年の「広報かまくら」3月号だったと思いますが、市長は、わび状みたいな文章を、第3面だったと思いますが、お書きになったという中で、地権者におわびの言葉を述べられていらっしゃいました。今後、この地権者とお話をしていきたいということをその文書の中にも書いていらっしゃったと思います。何度か地権者とお話ししているということですが、地元の我々山ノ内の人間の中には、誤解かもしれませんが、地権者が反対をされているので、なかなかこの問題は進まないでいるというようなことを理解している人が多くおります。

具体的に質問ですが、市長はその後、地権者とどのような話をされ、どう進めていって、どう決着をつけられようとしているか。お話し願いたいと思います。

それから、市としては、一旦決めて始めようとしたことを止めて、そのままこの数年間放置し、費用が相当かかっていると思います。警備する場合に、ちよっと言葉が悪いですが、予算を垂れ流しているような状況について、市長はどう思われているのか。その2点、市長がその地権者とどういうお話をしているか、それから、市の責任について、お話し願いたいと思います。

<松尾市長>

地権者の方、関係者の方と協議をする場を前回設けてから、再度設けたいとお話をさせていただいていますが、なかなか日程調整ができないという状況です。この会を開く御理解をいただかなくてはいけないということで、個別に私からお話できる方には直接会って別途お話をさせていただいたりもしております。今お話いただいたような方を含めてお会いできないという状況も現状としてはあります。この辺りも含めて、何とか直接お会いするという含めて、調整をしている状況でございます。

<山ノ内明月会町内会 高木会長>

今のお話ですが、地権者の方とのお話を進める上で、広報紙に市長のお名前でおわびに近い文書を出しながら、それを実行できないでいるという状況で、都市整備部を含めまして、部長の方々が本当に真剣に取り組んでおられると市長は思われますか。私は疑問に思っています。市長にあれだけのことをさせておいて、それをきちんと実行しないと。普通であれば、大体話は着いた上で、ああいう文書を出し、その後行使しますという段取りがあっべきだと思いますが、その辺、一言で結構ですので、お話を伺えたらと思います。

<松尾市長>

決して放置をしているということではなくて、我々は適宜、庁内でも、鋭意協議を重ねております。また、副市長をはじめ各担当部長、課長も何とか御理

解いただけるようにとアクションも起こしています。結果が出なくて申し訳ないところではありますが、何とか結果を出せるように我々としては引き続き進めてまいりたいと考えております。

<山ノ内明月会町内会 高木会長>

ありがとうございます。よろしく申し上げます。

<岩瀬町内会 織戸会長>

今泉クリーンセンター跡地に生ごみ処理施設を造るということで、7月20日に3町内会で要望書を提出いたしまして、白紙撤回を求めたいという形でお話をさせていただきました。市長の先ほどの回答の中で、地元の意見は無視して強引には進めないというお話を伺いましたが、白紙ではなく、まだ今泉に造るということで進めるのかどうか。その辺のところをお聞かせ願えればと思います。

<松尾市長>

我々としては、生ごみ資源化施設については、今後鎌倉市のごみ処理を進めていく中では、きちんと計画に位置づけをして、必要なものとして進めてきているところでは、候補地として今泉という名前を出させていただいて、これまで計画等も進めてきたところでは、今回地元から白紙撤回という要請等の形でいただいた御意見について、今、それを全て白紙に戻すというところまでは行っておりませんが、地元の御意見を受け止める中で今後協議をさせていただいて、どのようにしていくかをきちんと地元の皆さんとの協議を重ねてまいりたいという立ち位置でおります。

そういう意味では、白紙撤回でゼロからまた候補地を選び直すという段階には入っておりませんが、まずは生ごみ資源化施設の計画、またこの実施内容を御理解いただけるように協議をさせていただきたいと考えております。決して強引にこれを進めていくということではないということは、重ねて申し上げさせていただきます。

【避難所の運営体制の連携について】

<つるまい町内会 秦会長>

私は、避難所の件でお願いです。去年末からちょうど1年になりますが、実は大船中学校の避難所は運営委員会を立ち上げてやっており、その運営委員会の責任者として、一つ、気がついた点があります。先ほど市長がおっしゃったコロナ対策におきまして、いろいろ備品を防災倉庫に配布しましたというお話が冒頭にありましたが、実は教育現場、学校側と市の行政の行き来があまりうまくいっていないように感じました。

実は、私は、中学の教頭先生等ともお話ししながら、運営委員会とすれば当然地域ですから、地域と学校と行政とが三位一体となってやっていかなければいけないですが、行政と教育現場の間が見えてきません。ですから、先ほども説明を受けましたが、もう少し連携を密にして、うまく進めていくのが一番よろしいかと思っておりますので、再度その辺のお考えをお聞かせください。

<松尾市長>

この避難所の運営については、少し学校によって受け止め方に温度差があるということは私も課題だと捉えています。進めていく中においては、学校と地域と、市役所の連携が徐々に取れてきていると認識をしておりますが、今、会長がおっしゃっていたように、まだまだ十分でないという部分の話を詰める必要があると思っております。この三位一体での連携は非常に重要だと思っておりますので、今後、より協議を重ねていい形を作ってまいりたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

【避難所のマニュアル作成及ブロック長について】

<大船町内会 田子会長>

昨年、鎌倉自主防災組織連合会の会長を務めさせていただきました。まず小学校では17ブロックありますが、中学校のブロック長は誰もいません。これを行政にお願いしていますが、なかなか進みません。ブロック長の位置づけで進んでいかなければならないのを、進んでいかれないような状態でいて、だった

らどうするのということで、まず一番最初に大船がマニュアルを作りましたので、大船から作っていただきたい。そのマニュアルの中から今度は進めていく形を言っておりましたもので、今、秦会長に進めていただいています、これをちゃんとした位置づけをしていただかないと。市内全体の中学校のマニュアル作りもまだまだこれから始めていくような形で、災害なんていつ来るかわかりませんので、この点をはっきりしていかなきゃならない。どんどんそういうところを松尾市長から指導していただいて作るようなにしていかないと、間に合わないのではと思っています。その点、何度も話していますが、できないので、その位置づけ等決めていただくような形と、会合に出ていかれていろいろと質問ができるような、また、それで動いていければもっともっと早いうちにこれができていくのではと思いますので、ぜひ市長から言っていただいて、協力していただければありがたいと思いますので、よろしく願いいたします。

<松尾市長>

大船地域の皆さんには、小学校の避難所マニュアルづくりに積極的に取り組んでいただきまして、鎌倉市内で見ても他の小学校の模範となるようなものを作っていただきましたこと、本当にこの場をお借りいたしまして、感謝を申し上げます。

田子会長もおっしゃっていたのは、大船中学校の避難所マニュアルのことかと思っています。基本は、まず小学校の避難所マニュアルの作成は全市的な課題ですが、大船地域の状況を見まして、大船中学校の避難所としての運営が課題だと受け止めさせていただいておりますので、引き続き協議をさせていただければと思っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

<大船町内会 田子会長>

あと、鎌倉全体の中学校のセンター長もどんどん作っていただくことも言っております。今、大船中学校が始めましたが、八つの中学校のマニュアル作り、並びにセンター長も決めていただきながら、どんどん進めていただければありがたいと思っておりますので、その点もよろしく願いいたします。

<松尾市長>

ありがとうございます。ほかの中学校につきましても、今後協議をさせていただきたいと思います。

今、市としては、まずは小学校の避難所マニュアルを進めておりますので、中学校は、御案内のとおり、大きな地震があった場合での避難所の開設という形になってまいりますので、この辺り、どのように進めていくかということも含めて、ぜひ検討させていただきたいと思います。

《後日回答 防災安全部 総合防災課》

小学校の避難所マニュアルについては、現在、各地域の実情を踏まえ、自主防災組織等が中心となり、小学校ブロックごとに作成を進めていただいている状況です。

中学校の避難所マニュアルも一部の地域で取り組みが進められており、今後先進的に取り組んでいただいている避難所の事例を参考に順次進めてまいりたいと考えています。

中学校のブロック化については、小学校区域が重複することもあり境界等の線引きが難しい、小学校ブロックで自主防災組織の人員が取られ中学校まで運営していくには人員不足で厳しいという意見も寄せられており、各地域のご意見を伺いながら検討してまいります。

【民泊運営における条例の設置について】

<市場町内会 北村会長>

要望というか、全体に関連することでもあると思いますので、1点お願いしたいと思います。空き家住宅と民泊の関係です。私どもの町内会で最近民泊を開きたいということでお話がありました。市の市民相談課にも何か気をつけることはないかを聞き、いくつか返答をいただきました。調べてみますと、京都では条例をつくって町内会とそのオーナー、それから管理者、それから民泊の

運業者、そういう4者で協定を結んで事後のトラブルを防止することをしたかどうかということで、協定書の見本も示してくれています。私どもも、それに従って話を進めていこうと思いますが、京都ではまず市が非常に積極的に、双方のトラブルを防止するために、片方で住民との生活を守るために、働きかけている。ぜひ、鎌倉でもそのようなことをしていただきたいです。

というのは、私どものところにできる民泊も、現在は、旅行が減っており、従来型ではなくてワーケーションというような、滞在型で仕事にも使えるような形や、それから家族で比較的中長期的に滞在するような形のニーズがあるので、そういうことでやりたい。それから、一方で、町内でも空き家が出てくると、それをどういう形にするのかと。なかなか借手もない中で、そういう活用の仕方を考えられる人も増えてくると思います。ですから、トラブルにならないようないい運営の仕方を、市としてもぜひ考えていただきたいと思います。また、協定書を結んだり、これからすることになると思いますが、色々と指導いただければと思います。

<松尾市長>

民泊の関係は、鎌倉市内至るところで課題になっておりまして、その中では騒音やごみの問題が主になります。大本は神奈川県在所管ということになりますが、当然鎌倉市も関係ないということではなくて、相談窓口を設けて御相談いただいています。こうしたトラブルになるようなことについては、仲介をさせていただく中で対応しているというのが現状です。もし、音の問題ですか、ごみの問題ということの課題があれば、きちんと指導をしていくという対応をしているところです。継続して混乱しているような状況は、おおむね生まれておりませんが、北村会長おっしゃるような形で、地域住民の皆さんにとってよりよい形で協定を結ぶという方法も、今後検討してまいりたいと思っております。

【災害時の観光客への避難誘導の取り組みについて】

<田園町内会 水島会長>

防災に関してですが、今取り組んでいるのは、お店に来ているお客様が帰宅困難になった場合にその方たちを安全に誘導したいということでパンフレットを作って、近くの帰宅困難者を収容できる鎌倉芸術館、あるいは大船駅に行くルートをお渡しできるような準備をして、備えに入っております。鎌倉は観光客がたくさん来ているわけですから、GOTOトラベルも行われていますし、鎌倉市全体として、観光に来ているお客様が帰宅困難になった場合に安全に誘導できるような商店街としての取り組みがお客様を大事にするということで、必要ではないかと思えます。藤沢市では江ノ島がもし災害になった場合に、橋が閉鎖されますので、島に残った方たちを商店の方たち、町内会の方たちが安全に上の神社まで誘導できるような体制をつくっていると聞きます。鎌倉市も観光を中心にした市なので、ぜひそういう取り組みを全市的にやられたらどうかという意見です。

<松尾市長>

大船での取り組みも、ぜひ具体的に教えていただいて参考にさせていただきたいと思えます。津波のときはオレンジフラッグを持って先導していただくということなども勉強させていただいた部分でございませけれども、御指摘のようなところも、ぜひ連携をして取組を進めさせていただければと思っておりますので、よろしく願いいたします。

【防災資機材購入の補助及び北鎌倉隧道について】

<山ノ内下町上町内会 亀井会長>

小坂小学校ブロック長もしております。避難所の件で話が出ましたので、まずその点について、後ほど別の件もお願いします。まずは先ほど避難所に絡む大船地区での取り組みが大変進んでいることに感謝しますと市長様からありがたいお言葉を頂戴しました。大船地区の取り組みは確かにほかより進んでいると私どもも自負しております。鎌倉全体の動きの中で大船は突出しているせいか、少し市の対策の想定を先に行っているのではないかと思うこともあります。

具体的に何かといいますと、資材を買うときの補助制度がない。個別の町内

会が防災部として防災用品、資機材を買うときには2分の1の補助を頂いております。ところが、小坂小学校ブロックで昨年度訓練のときに使うゼッケンを買いたいと。ついては、これの補助をしてもらえないかと担当部署にお願いしたところ、鎌倉市にはそのような制度がない。各町内会で買うなら補助するけれども、避難所ブロックでの資材購入に補助できないと。これは先ほど市長がおっしゃっていた大船地区、大変取り組みが進んでいて感謝しているという言葉と現実の扱いが違うので、何とか是正していただける方向で考えていただけないでしょうかというのが、1点目です。

<松尾市長>

個別具体のところ、御不便をおかけしております。避難所として必要なもの、またその資機材についての補助という、そのメニューの話だと思います。きっと市役所からはそれは補助にならないという答えだったということだと思いますので、ぜひ今後も協議をさせていただいて、地域での活動に必要なものということで今後検討させていただきたいと思います。

「後日回答 防災安全部 総合防災課」

避難所運営で必要となる防災資機材については、まず総合防災課へご相談ください。

現在、鎌倉市自主防災活動育成費補助金要綱において、市内の自主防災組織が行う活動の育成及び防災資機材等の補助を対象としています。ご指摘のとおり自主防災組織に対して補助を行うもので、ブロック単位の資機材に対する補助については行っておりません。要綱の見直しも含め、今後の検討課題であると認識しています。

<山ノ内下町上町内会 亀井会長>

なにぶん、補助金も条例に基づいて行われるものですので、条例を超えた対

応ができないのは十分分かります。ただし、その条例を変えることができないわけではないので、ぜひ町内会防災部だけでなく、避難所運営に関わる物資も補助金対象とするということを御検討くださいということで1点目の質問を終わります。

2点目の質問ですが、先ほど、出ておりました北鎌倉隧道に関してです。鎌倉市に限らず、どこの市町村でもそうでしょうが、例えば狭窄路に住んでいる方が建物を建て替えるとき、セットバックを要求されます。道路センターから2メートル下がれと。それで、両側が下がれば4メートルの道路が完成する。これは一律そのようなことで行われていると思います。ところが、この北鎌倉隧道がボトルネックとなってしまって、トンネルの前後の方がセットバックをして十分拡幅された道路が出来上がったとしてもトンネルだけがボトルネックになってしまう。このような状態というのは道路計画、都市計画としての道路行政について、違うのではと私は思うのです。また、セットバックされた方にとっても、確かに買上げ制度はあります。ですが、その買上げというのは地価の10分の1の値段ですよ。それは市民全体のために皆さんが協力していただいていることです。そういうことに対して、せっかく協力くださる方に対して不公平感を与えてしまうことになるのではないかと危惧しております。もちろん、予算面でも危惧はしております。その不公平になってしまう狭窄路が拡幅される上でのボトルネックになってしまう北鎌倉隧道の問題、その点について、市長のお考えをお聞かせください。

<松尾市長>

会長がおっしゃるとおりでございまして、国の制度という中での運用と、また実情に合わない部分でというところだと思います。北鎌倉隧道のその内側といますか、北側に当たる部分についても、仮に今後セットバックをするような状況も出てこようかと思えます。法での運用というところで、我々の判断だけではできない部分もありますけれども、実情に合わない部分については、きちっとお話をさせていただく中で、よりよい形を何とか見いだしていけるようにしていきたいというところもありますので、今後そういうことになりましたら、また御相談させていただければと思っております。

<山ノ内下町上町内会 亀井会長>

ぜひ最近はやっている俯瞰するような見方で、決して個別の問題だけにとらわれることなく、大きな観点からこの問題解決につなげて行ってほしいと思っています。ありがとうございました。